領域2プロジェクト：

新XooNIpsの開発/ Libraryモジュールの開発と普及

代表機関：慶應義塾大学　　連携機関： 近畿大学　奈良大学　別府大学

XooNIps利用機関を中心とした
コミュニティによる
機関リポジトリ普及活動

- 構築/運用などのシステム面支援
- 豊富なマニュアルの作成と公開
- ワークショップを開催し、評価環境の構築から
  システムに縛られないPDF作成、
  メタデータ付与など
  広い範囲での実習を提供

次世代XooNIpsの開発と
Libraryモジュールの改修作業

- 理化学研究所で開発が計画されている
  次世代XooNIpsの仕様策定への参画
- 既存利用機関へのサポート
- Libraryモジュールも対応できるよう対応を
  検討

二本の柱を中心としてプロジェクトを推進

次世代XooNIpsの開発

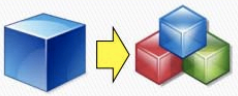
理化学研究所　奥村氏の発表資料より抜粋

今年度中に開発／公開予定

目的

- 現行のXooNIpsは当初の目的を達成し、さらに、我々のプラットフォームだけでなく、慶應義塾大学図書館をはじめ機関リポジトリに採用されるようになった。
- しかしながら、利用機関の増加と共に、様々なニーズや課題が示されるようになってきた。
- これらの要望に答えるためXooNIpsをさらに発展させ利便性、運用性の向上を図る必要が出てきた。
- そこで、優れた操作性や機能を継承しつつ、新たに次世代システムの構築を行う。

XOOPS Cube Legacy 2.2

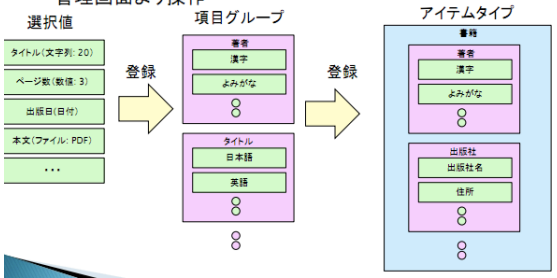
XOOPS Cube Legacy 2.2	次世代XooNIps
・システムモジュールの役割の細分化 ・Legacy 2.1： 　◦ **ユーザ管理**、レンダラー、キャッシュ、プライベートメッセージ等 ・Legacy 2.2： 　◦ カテゴリ管理、**ワークフロー管理**、画像管理、**グループ管理**等	 ・モジュールの役割分担 　◦ **ユーザ管理、グループ管理** 　◦ データベース 　◦ **承認機構** 　◦ OAI-PMH ハーベスタ

外部システム連携

- OAI-PMH
- DOI
  - ハンドルシステム
- REST
- 外部認証
  - Shibboleth SP
    - UPKIイニシアティブ https://upki-portal.nii.ac.jp/
    - 学術認証連携基盤(GakuNin)
  - OpenID
    - mixi, Yahooなどコミュニティサイトのアカウントを用いて
  - LDAP
    - 学内システムとの連携など. . .

公開に向けて

- データの移行
  - もちろん用意
    - 我々のデータベースが移行できなくては意味が無い。
    - 慶應義塾大学さんのkoaraも事前テストに協力して頂こう。
  - 現XooNIpsを独自に改良をされているところも相談しましょう。
- テスト公開
  - 広くフィードバックを集めたい。
- 一般公開
  - 乞うご期待。

アイテムタイプの定義

- これからは？
  - 管理画面より操作